

令和6年度 狹山市立 学校(幼稚園) 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)人間関係構築	(2)学習意欲の向上	(3)不登校生徒の対応
(4)当たり前10か条の徹底	(5)教員の授業力の向上	(6)学校行事・特別活動の充実

2 本年度の経営方針

生徒の心に灯をともし ～一人も取り残さない学校を目指す～

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	保護者から高い評価をいただいている。授業力の向上を図ることで、さらに「一人も取り残さない」体制の実現につなげる。
	2	保護者への浸透が図られたか。	A	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	A	組織として分掌が機能していたが、一部教職員に負担が集中している点は見直しを進める。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	B	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編制されたか。	A	授業日数の確保と行事の実施、教職員の働き方改革とのバランスを考えた教育計画の編成が課題。教職員の負担軽減を図りながらも、開かれた学校づくりのため、地域との連携を進める。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	B	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	B	
4 学年 学級 経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか	A	「台中ブランド」として無言清掃の取組を進めている。老朽化している箇所はあるが、その中でも行き届いた清掃によって環境が維持されている。生徒総会等を通じて校則を改定する手続きが生徒にも浸透しており、自己決定の文化は根付いている。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	A	
	14	意図的、計画的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	15	児童生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	A	
5 学習 指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	教員の授業力向上を核にした校内研究を進める中で、生徒が主体的に学ぶ授業の確立やICTの効果的な活用を促していく。
	19	児童生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	B	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	21	児童生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	A	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な活用がなされたか。	C	
	23	教員数、施設、設備などの実情に応じたコースの設定がなされたか。	B	
	24	児童生徒の個性を生かした学習内容、学習方法の工夫がなされたか。	B	
6 道徳	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされたか。	A	道徳の時間を全校統一し、指導者をローテーションして取り組むことで、充実した道徳教育が展開できた。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	A	
7 特別 活動	27	全体計画を理解し、児童生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	校内の取組は充実したが、奉仕活動の部分において、今後地域と連携した取り組みを進めていく。
	28	全体計画が、児童生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	A	
	29	児童会生徒会活動などの特性が理解され、児童生徒の自己実現がなされたか。	A	
	30	奉仕活動の活発化が図られたか。	C	
8 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	B	行事を通した生徒の成長はおおいに見られたが、行事の準備運営に係る教職員の負担は大きい。長期的な視点で年間の行事計画を見直していく。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互いに協力がなされたか。	B	
9 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	「当たり前10か条」や「台中ブランド」等の共有によって、教職員、生徒ともにやるべきことが明確になっている。普段と違うことが発生した状況における情報共有については、やや遅れてしまうことがあるため、より素早い情報共有体制を確立していく。いじめや不登校の対策については、相談室、SSRが効果的に活用された。
	35	職員に共通理解があったか。	B	
	36	カウンセリングマインドを心がけて指導がなされたか。	A	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	A	
	39	児童生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	A	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	A	
	41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	A	
	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
10 進路 指導	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	A	1・2年生の段階から進路に関する情報をもっと欲しいという声が保護者から挙がっている。3年間を見通した進路指導の計画を積極的に共有していく。
	44	児童生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	A	
	45	家庭との連携が行われたか。	B	
11 保健・ 安全 指導	46	保健観察が丁寧に行われたか。	A	健康面に関しては、学校保健委員会の取組を充実させながら、家庭との連携をより強化していく。体力向上については、生徒の目標達成プロセスを大切にし、主体的な取り組みを促すことで、体力テストの結果向上につなげていく。
	47	児童生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	A	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされたか。	C	
	49	治療が必要な児童生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	A	
12 職員 会議	52	給食指導が適切になされたか。	A	校務分掌の見直しを行うことで、職員がより主体性をもって動ける組織づくりを進める。また、自己評価シートに基づき、定期的な面談のみならず、日常における管理職からの声掛けを増やすことで、一人一人の意識向上につなげる。
	53	開始時刻が守られたか。	A	
	54	職員が問題意識を持って臨めたか。	B	
	55	議案の内容や提案の仕方が適切であったか。	B	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	B	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	
13 教職 員の 服務	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	A	時間外在校等時間が月に80時間を超えてしまう教職員もいるため、業務の精選を進めるとともに、働きやすい職場づくりの風土を醸成していく。そのためのアイデアを教職員から募ることで、主体性をもって改善に取り組める組織にしていく。
	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもと服務の厳正に努めたか。	A	
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	B	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	B	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	A	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	
14 校内 研修	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	C	研究組織の編成が十分に機能しなかったため、道半ばの研修となっている。「教員の授業力向上」が課題であることの共通認識は十分にできているため、そこに向き合うための時間を確保することで、より効果的な研修にしていく。
	65	研究主題が児童生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	B	
	66	研究組織や進め方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	C	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	B	
	68	研究の結果、児童生徒の変容が見られ、子供のためになったか。	B	
	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身に付いたか。	B	
15 施 設 設備	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	A	不要備品の廃棄等も適切に進められた。無言清掃の文化によって、生徒も環境整備の意識が醸成されている。
	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	A	
	73	使用後は施錠等が確実になされ、しっかり後始末ができたか。	A	
	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	A	
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	A	
16 学校 事務	76	出勤簿は毎朝、押印されたか。	B	出張や提出物の期限等を一覧化・見える化することで、余裕を持った文書作成ができる体制を確立する。
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	A	
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	B	
	80	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
17 PTA 家庭 地域	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	定期的な保護者会のみならず、必要に応じた家庭訪問を教職員が積極的に行っている。地域への参加は今後の課題。教職員の負担軽減とのバランスを図りながら進めていく。
	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	B	
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	A	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	C	
18 部活 動	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。	B	ガイドラインの順守を徹底する。
19 総 合	86	内容は児童生徒の興味をそそるものであったか。	B	3年間の見通しを持てる計画を明示することで、より効果的な取り組みにしていく。
	87	計画に沿って実施できたか。	B	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	A	